



富山県：新山彦橋



北海道：ファーム富田 ラベンダー畑



石川県：金沢駅・鉄門(写真提供：金沢市)



福井県：美浜町 水晶浜(写真提供：福井県観光連盟)

# Mini Disclosure 2018

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2018年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.



北海道：美瑛 四季彩の丘



取締役社長 庵 栄伸  
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博  
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループにご厚情を賜り、誠にありがとうございます。ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌2018」をお届けいたします。本誌では、2018年3月期の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

2018年3月期のわが国経済は、輸出の伸びが一段と高まる中で、設備投資や在庫投資の企業部門を中心に内需の回復力が鮮明となり、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費も緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外経済におきましても、景気拡大が続く米国をはじめとする先進国が主導し、中国も底堅く推移したことから、緩やかな回復が続きました。

当社グループの主要営業地域である北陸三県においては、電子部品や業務用機械などの業種での生産が高水準で推移したほか、個人消費も着実に持ち直し、労働需給の引き締まりも顕著になりました。また、北海道においては、災害復旧向けを中心とした公共投資による景気の押し上げ効果に加えて、観光関連における設備投資の増勢や堅調な個人消費などを背景に、道内景気全体としては持ち直し基調を維持しました。

当社グループを取り巻く経済環境は、引き続き世界経済の回復が期待される一方で、米国政権の政策運営や欧州の政治情勢、中国経済の動向等の不確実性も存在しており、その国内経済への影響も含めて、将来の予測が難しい状況にあります。

金融の分野では、超低金利環境の継続に加え、フィンテック等のIT技術を駆使した金融サービスの拡大などが、金融機関のビジネスモデルに多大な影響を与えております。

このような環境変化に対応できる新たなビジネスモデルの構築を目指し、2016年度から2018年度を計画期間とする中期経営計画「BEST for the Region」を策定し、「営業力の強化」、「経営の効率化」、「経営基盤の強靱化」を柱として各種施策に取り組んでおります。

①営業力の強化

顧客本位の考え方を最優先に掲げ、人材育成、商品性の改善、ITを活用した各種取引の利便性向上などに引き続き取り組み、お客さまのニーズや課題を的確にとらえて、適切な提案が行えるように努めてまいります。

②経営の効率化

マーケットの状況に応じて、全般的な金融サービスを提供するフルバンキング店舗と、店頭でのサービスや個人営業に特化した店舗を配置し、効率的な営業店運営に引き続き取り組んでまいります。また、事務処理の更なる機械化や本部集中化の拡大により、効率化・生産性向上に努めてまいります。

システム投資についても、北陸銀行・北海道銀行の各種システムの統一化をさらに進め、投資額の抑制とサービス向上・業務合理化の両立に取り組んでまいります。

③経営基盤の強靱化

今年度も計画に沿って収益の積み上げを図り、健全な財務基盤の維持・向上を目指してまいります。

また、グループ企業の経営管理体制の強化に向けて、取締役会における重要議案の審議の充実に向けた取り組み、社外役員の知見・経験の活用、監査等委員会の監督機能の発揮等により、取締役会の機能の実効性を向上させ、ガバナンスの強化に取り組んでまいります。

各種施策の成果を着実に積み上げていくことにより、持続的に企業価値を向上させるべく、グループ役職員が一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

目次

ごあいさつ ..... 01  
 中期経営計画 ..... 02  
 業績ハイライト ..... 03

グループの概要 ..... 07  
 ネットワーク ..... 08  
 トピックス ..... 09

《ほくほくフィナンシャルグループのESG》

Environment(環境)への取り組み ..... 11  
 Social(社会)への取り組み ..... 12  
 Governance(ガバナンス)への取り組み ..... 17

株式会社のご案内 ..... 18

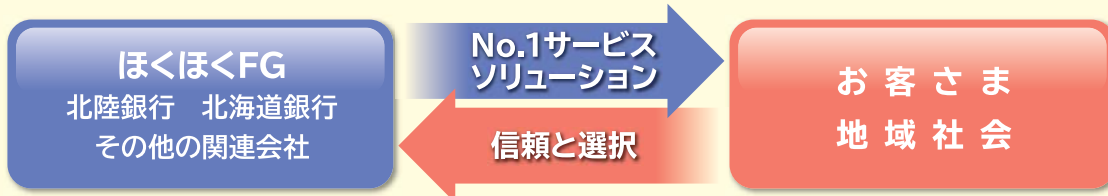
中期経営計画の概要

# 『BEST for the Region』 2016年4月～2019年3月

～予想される環境変化のなかで地域経済をバックアップしていくために、  
ビジネスモデルの変革とグループシナジー効果のさらなる追求に取り組む期間～

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで  
「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループ



お取引先の役に立つ商品・サービスやコンサルティング機能の提供 (Beneficial)、グループの業務集約やエリア営業体制の拡充等による効率的な経営体制・営業体制の整備 (Efficient)、着実な収益の積み上げによる健全で信頼される経営基盤の確保 (Sound & Trustworthy) により地域No.1の金融グループを目指してまいります。

3つのコンセプト

① 営業力の強化

お客さまの期待を上回る提案力・サービス力の実現

② 経営の効率化

競争を勝ち抜く機能的な組織の追求

③ 経営基盤の強靱化

地域から信頼される安定した財務基盤の構築

中期経営計画で目標とする計数

連結/2行合算 (億円)	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 計画
預金平残	104,096	107,687	105,600
貸出金平残	76,848	79,616	77,600
コア業務粗利益	1,329	1,267	1,345
経費	898	888	930
コア業務純益	430	379	415
信用コスト	△ 6	5	60
親会社株主に帰属する 当期純利益	281	211	230
(連結)自己資本比率	9.43%	9.49%	9.55%
コア業務粗利益ベース OHR	67.58%	70.05%	69.14%

## 営業の概況

## ■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

	2018年 3月期	前 期 比	2017年 3月期
経常収益	1,809	△ 65	1,874
経常利益	317	△ 76	394
親会社株主に帰属する当期純利益	211	△ 69	281
自己資本比率	9.49%	0.06%	9.43%

当社における2018年3月期の業績につきましては、連結経常収益は前期比65億円減少の1,809億円、連結経常利益は前期比76億円減少の317億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比69億円減少の211億円となりました。

連結自己資本比率は9.49%となりました。

## ■ 北陸銀行・北海道銀行 &lt;2行合算&gt;

(単位:億円)

	2行合算		2017年 3月期
	2018年 3月期	前 期 比	
経常収益	1,647	△ 63	1,710
コア業務粗利益	1,267	△ 61	1,329
経費(臨時処理分を除く)	888	△ 10	898
コア業務純益	379	△ 51	430
与信費用	5	12	△ 6
経常利益	331	△ 70	402
当期純利益	240	△ 56	296

2行合算では、経常収益は前期比63億円減少の1,647億円となり、当期純利益は前期比56億円減少の240億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前期比18億円減少の911億円となり、当期純利益は前期比29億円減少の157億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前期比7億円減少の782億円となり、当期純利益は前期比26億円減少の82億円となりました。

(単位:億円)

	北陸銀行		2017年 3月期
	2018年 3月期	前 期 比	
経常収益	911	△ 18	929
コア業務粗利益	712	△ 16	729
経費(臨時処理分を除く)	475	△ 7	482
コア業務純益	237	△ 9	247
与信費用	18	25	△ 6
経常利益	241	△ 6	248
当期純利益	157	△ 29	187
自己資本比率	9.02%	0.28%	8.74%

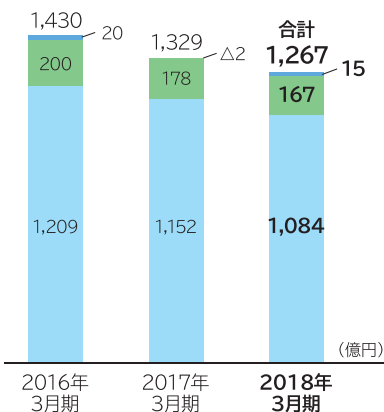
(単位:億円)

	北海道銀行		2017年 3月期
	2018年 3月期	前 期 比	
経常収益	782	△ 7	789
コア業務粗利益	595	△ 13	608
経費(臨時処理分を除く)	413	△ 2	415
コア業務純益	182	△ 10	192
与信費用	△ 12	△ 12	△ 0
経常利益	89	△ 63	153
当期純利益	82	△ 26	109
自己資本比率	9.28%	△ 0.06%	9.34%

## 損益の状況

## ■ コア業務粗利益&lt;2行合算&gt;

■ その他  
■ 役員取引等利益  
■ 資金利益



資金利益 **1,084**億円

貸出金利息、有価証券利息配当金の減少により、前期比68億円減少しました。

役員取引等利益 **167**億円

ローン保険料、ローン保証料の増加により、前期比11億円減少しました。

その他 **15**億円

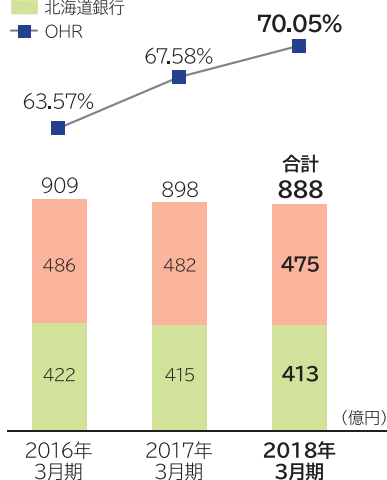
外為売買損益の増加などにより、前期比18億円増加しました。

コア業務粗利益 **1,267**億円

上記の結果、前期比61億円減少しました。

## ■ 経費&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行  
■ OHR



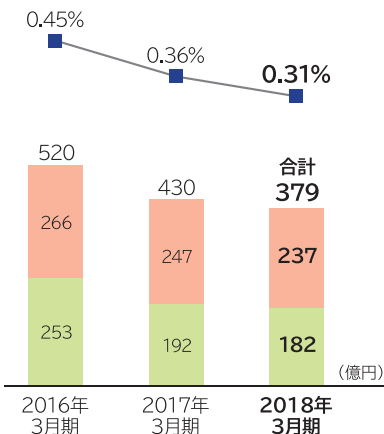
経費

**888**億円

人件費および物件費が減少したことから、前期比10億円減少しました。

## ■ コア業務純益&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行  
■ ROA



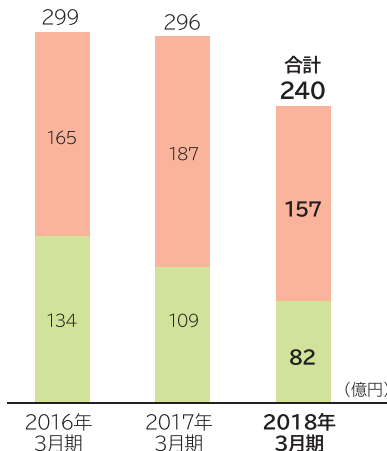
コア業務純益

**379**億円

経費は減少しましたが、コア業務粗利益の減少により、前期比51億円減少しました。

## ■ 当期純利益&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行



当期純利益

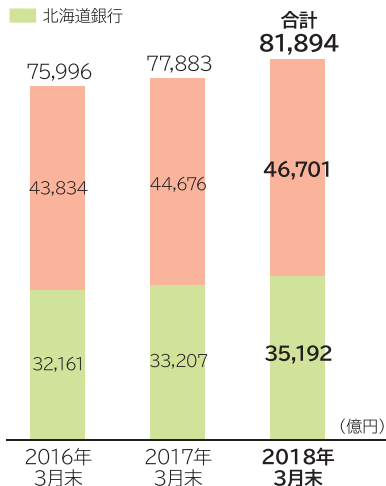
**240**億円

国債等債券損益の減少および与信費用の増加などにより、当期純利益は前期比56億円減少しました。

## 貸出金・預金等の状況

## ■ 貸出金&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行



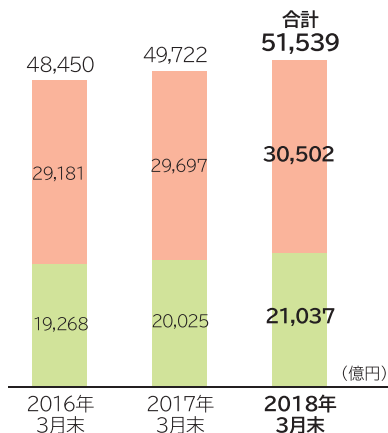
貸出金

8兆1,894億円

事業性貸出、個人ローンの増加により、前期末比4,010億円増加しました。

## ■ 中小企業等貸出&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行



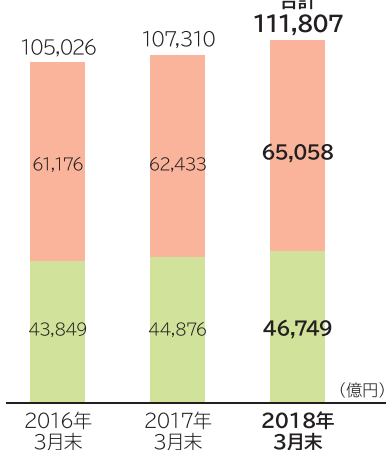
中小企業等貸出

5兆1,539億円

地域の資金需要を積極的に取り込んだ結果、前期末比1,817億円増加しました。

## ■ 預金(含む譲渡性預金)&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行



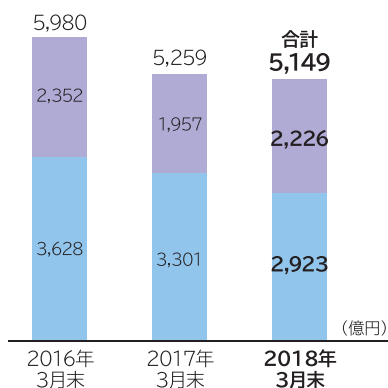
預金(含む譲渡性預金)

11兆1,807億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前期末比4,497億円増加しました。

## ■ 個人預かり資産(公共債、投資信託)&lt;2行合算&gt;

公共債  
投資信託



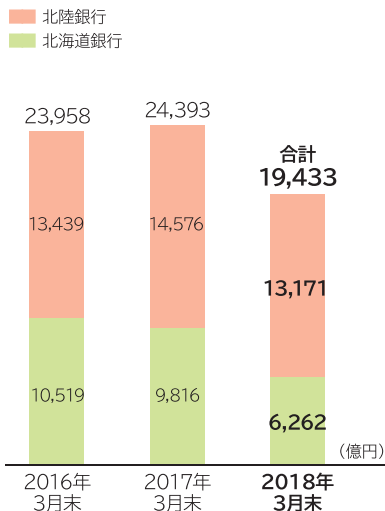
個人預かり資産

5,149億円

投資信託が減少したことから、前期末比109億円減少しました。

## 有価証券残高・健全性の指標

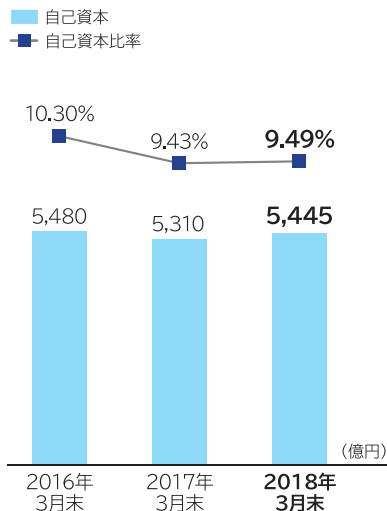
## ■ 有価証券残高&lt;2行合算&gt;



有価証券残高  
**1兆9,433億円**

有価証券残高は、金利情勢を勘案して円債の新規購入を控えて償還が進んだことに加え、外国証券や投資信託の残高を圧縮した結果、前期末比4,960億円減少しました。

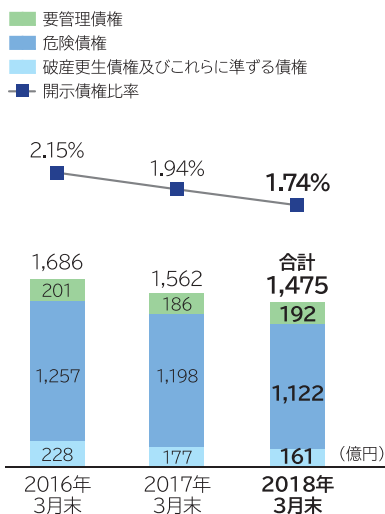
## ■ 自己資本比率&lt;FG連結&gt;



自己資本比率  
**9.49%**

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、前期末比0.06ポイント上昇しました。

## ■ 金融再生法開示債権&lt;2行合算&gt;



金融再生法開示債権  
**1,475億円**

前期末比86億円減少しました。

開示債権比率  
**1.74%**

前期末比0.20ポイント改善しました。

## ■ 格付

格付投資情報センター  
**R&I**



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」、北海道銀行はJCRより「A」の格付も取得しています。

## 銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 132,163,014株  
第1回第5種優先株式 107,432,000株

■ 取締役の役職および氏名 (2018年6月22日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	加地 賢幸
取締役副社長	笹原 晶博	取締役監査等委員(常勤)	菊島 聡史
取締役	麦野 英順	取締役監査等委員(社外)	川田 達男
取締役	兼間 祐二	取締役監査等委員(社外)	中川 了滋
取締役	吉田 剛	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	浅林 孝志	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥

■ 従業員の数 専任者12名

■ 設立日 2003年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

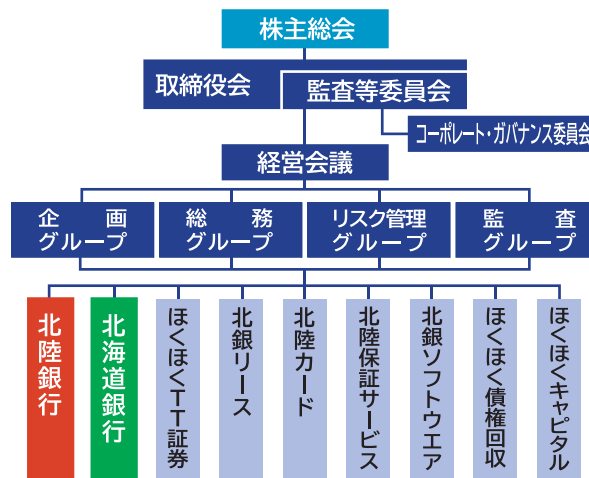
取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
コーポレート・ガバナンス委員会	社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号

業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務  
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図 (2018年6月22日現在)



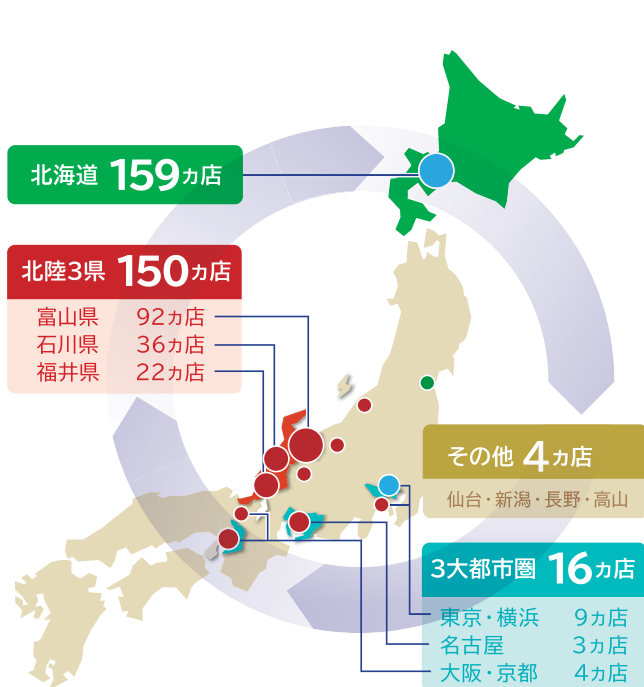
■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	ほくほくTT証券(株)
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。



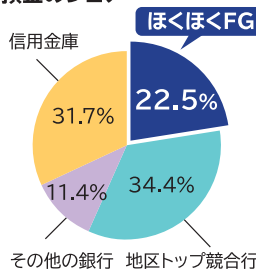
## 広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

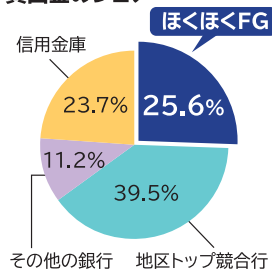


### 北海道内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア

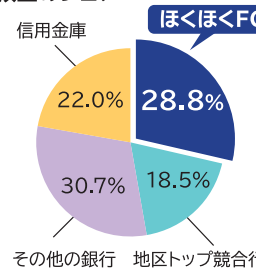


#### 貸出金のシェア

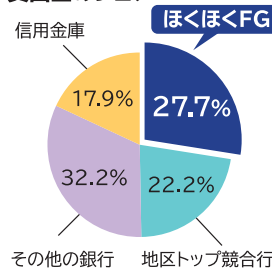


### 北陸3県内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア



#### 貸出金のシェア



※シェアは、2017年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。  
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

## グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑥ 大連駐在員事務所        |
| ② ロンドン駐在員事務所   | ⑦ 瀋陽駐在員事務所        |
| ③ バンコク駐在員事務所   | ⑧ ウラジオストク駐在員事務所   |
| ④ シンガポール駐在員事務所 | ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所 |
| ⑤ 上海駐在員事務所     |                   |

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



## 北陸銀行 TOPICS

## 次世代店舗オープン



お客さまにより便利に快適にご利用いただくために豊田支店・東大通支店の2か店の店舗を新築しました。

新店舗では幅広いスペースの駐車場や多目的トイレを設置しており、高齢者の方やお体の不自由な方でも安心してご利用いただけるようにしております。また、お勤めの方にもより便利にご利用いただけるように、平日だけでなく土曜日・日曜日も8時から21時まで営業する全自動貸金庫を設置しております。



## まちかどATMサービス開始



9月より、北陸三県のまちかどの様々な店舗や施設などにATMを設置・運営するサービス「まちかどATM」を開始しました。

これまでATMが設置されていなかったスーパー、病院、飲食店、工場、大型駐車場施設等への設置が可能となり、よりお客さまの身近な場所にご利用いただけます。

2018年3月末で13か所に展開しており、今後も順次設置先を拡大してまいります。

# まちかど ATM

## ほくほくTT証券 TOPICS

## ほくほくTT証券新店舗オープン



ほくほくTT証券は、12月に北海道内2か店目として旭川道銀ビル内に「旭川支店」をオープンしました。また、2月には、福井県内初の店舗として「福井支店」を北陸銀行福井支店内にオープンしました。

ほくほくフィナンシャルグループの一員としてグループ銀行と連携を深め、お客さまに一層きめ細やかなご提案を行ってまいります。



## 北海道銀行 TOPICS



## 「道銀Visaデビット」取扱開始



10月、全世界200カ国以上の国と地域にあるVisa加盟店にてキャッシュレスでお買い物ができ、利用代金が即時にお客さまの預金口座から残高の範囲内で引き落としとなる「道銀Visaデビット」の取り扱いを開始しました。

利用額に応じたキャッシュバックや年会費が無料になる等のご利用特典もあり、使い過ぎの心配がなく、幅広いお客さまに安心してご利用いただけるサービスです。

北陸銀行では、「ほくぎんVisaデビット」「ほくぎんJCBデビット」を取り扱っております。



## 「ワンピースデザインのICキャッシュカード」取扱開始

12月より、期間限定で道銀限定描き下ろしデザインの「ワンピース」ICキャッシュカードの取り扱いを開始しました。

TVアニメ「ワンピース」は、1997年より週刊少年ジャンプに連載開始となり、コミックスの世界累計発行部数が4億3千万部を突破した大人気漫画のTVアニメーションです。銀行キャッシュカードに「ワンピース」デザインを採用するのは、道内の金融機関では初となります。



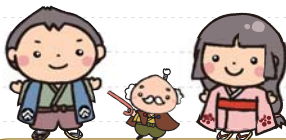
## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



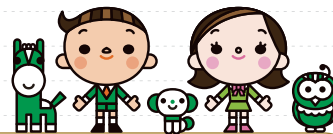
ほくほくフィナンシャルグループは、持続的な成長と中長期的な企業価値の創出を達成するため、ESG（環境、社会、ガバナンス）の課題に積極的に対応し、その取組を開示していきます。また、国連が持続可能な発展のため2030年までに達成すべき目標として採択したSDGs（※）についても、当社グループの取組項目を開示していきます。開示にあたっては、国連が公開しているロゴを使用し、SDGsの17目標に該当する項目を表示します。（ロゴは国際連合広報センターWebサイトより引用）

※SDGs…Sustainable Development Goals 2015年国連持続可能な開発サミットにおいて採択



北陸銀行の取り組みをご紹介します!

北海道銀行の取り組みをご紹介します!



## Environment (環境) への取り組み



### 北陸銀行 「なんとの森づくり」に参加

10月、富山県南砺市遊部自治会が推進する「なんとの森づくり事業」に参加協力しました。

本事業は五箇山の合掌造りの屋根に使う茅不足改善を目的に2015年11月から開始されました。世界遺産を守る同事業の趣旨に賛同してスタートより参加協力しており、今回で3回目となります。



### 北陸銀行 立山黒部貫光株式会社への環境評価融資商品「エコリード・マスター」の提供

1月、立山黒部貫光株式会社に対し、独自に実施する環境格付を活用した環境評価融資商品「エコリード・マスター」をご提供しました。

中部山岳国立公園内において立山黒部アルペンルートを運営している立山黒部貫光が環境経営を継続的に実践することを支援するため、金融面からサポートします。

2017年度実績  
環境融資 …… 4件 11.8億円  
(北陸銀行)  
エコ私募債  
…… 418件 324億円  
(2行合算)



### 北海道銀行 厚岸グリーン電力合同会社のシンジケート・ローン組成

3月、北海道厚岸郡厚岸町で実施する大規模太陽光発電事業(メガソーラー事業)に対してプロジェクトファイナンスによる、シンジケート・ローンを組成しました。

今後とも再生可能エネルギー事業等の様々な資金ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

## Social (社会) への取り組み



## 個人のお客さまのための取り組み

### 北陸銀行 北海道銀行 ATMによるキャッシュカード磁気修復機能を開始

2月、ATMによるキャッシュカードの磁気修復機能を開始しました。

近年、携帯電話やスマートフォン、タブレット端末との接触が原因と思われるキャッシュカードの磁気破損に伴うカード再発行件数が増加しており、お客さまから改善を求める声を多数いただいていたことから導入しました。

### 北陸銀行 対話型「お客さまディスプレイ」の導入

北陸銀行では1月より伝票の自動作成機能等を備えた「お客さまディスプレイ」を導入しました。各店に順次導入し、6月までに全店に導入予定です。

これによりお客さまが店頭で「お客さまディスプレイ」にて届出事項を入力し、取引内容等を確認することで、入力内容を反映した伝票・申込書等が作成され、窓口での手続き負担が軽減されます。

北海道銀行においても、2017年6月より順次導入しております。



### 北陸銀行 本部CSサポートチーム設置、各店CSリーダー配置

1月より、全営業店にCSリーダーを配置し、お客さま満足の向上に繋がる接遇技術の向上や各種説明ツールの整備、ロールプレイング研修を活用した接遇向上など、全店を挙げた取り組みを実施しております。

また、本部にCSサポートチームを設置し、担当者2名を配置することで、全行的な品質の均質化・向上にも注力しております。



### 北海道銀行 どうざんアプリのバージョンアップを実施

2月、「どうざんアプリ」のバージョンアップを実施しました。本人名義の口座を最大5口座まで登録し、残高・明細照会が可能となりました。

また、他の金融機関や証券会社・クレジットカード・電子マネーなどの残高や利用明細が一元的に表示できる「一生通帳 by Moneytree」を搭載しました。



## 法人のお客さまのための取り組み

北陸銀行  
北海道銀行

## 海外駐在員事務所長 帰国報告会 開催

10月、北海道銀行ユジノサハリンスク事務所、北陸銀行バンコク事務所両所長による帰国報告会を北海道銀行本店で開催しました。

今回の報告会では、最新の現地事情や経済動向などについて講演を行いました。

参加者……53名(38社)

北陸銀行  
北海道銀行

## 地方銀行フードセレクション2017開催

11月、地方創生に向けた取り組みとして、「地方銀行フードセレクション 2017」を全国の地方銀行55行と合同で開催しました。

主催する地方銀行の取引先で、全国に向けた販路拡大を希望する「食」関連の企業及び団体と、良質で地域色豊かな食材を求める百貨店、食品スーパーなどバイヤーとの商談の場を提供しました。



出展企業……831社  
来場者……12,612名  
個別商談会  
参加バイヤー……71社  
面談件数……484件

北陸銀行  
北海道銀行北海道東北北陸ビジネスマッチングin東京  
～6次産業化商談会の開催

2月、こだわりの特産品づくりに取り組む事業者の「商品磨き上げ」及び「販路拡大」を図るため、百貨店等のバイヤーやアドバイザーを招聘し、生産者及び食品加工業者との個別相談会・商談会を開催しました。

参加バイヤー……19名  
参加サプライヤー……27社  
個別商談全体……109件



北陸銀行

「ほくぎんビジネスマッチング・システム」を  
リンクーズ株式会社と共同開発

1月、お取引先の本業支援の一環として行っている「ビジネスマッチング業務」をより強化するため、リンクーズ株式会社と共同で「ほくぎんビジネスマッチング・システム」を開発・試行運用を開始しました。

本システムはクラウドを活用するもので、国内金融機関では初の運用となります。システムを活用するお取引先は自社の商材やサービスの特長をシステム上でPRすることで、北陸銀行との情報共有を行い、銀行のネットワークを活用したビジネスマッチングが可能となります。



北陸銀行

## 「FBCハノイ2018 ものづくり商談会」

3月、ベトナムハノイにて開催された第2回「FBCハノイ2018 ものづくり商談会」に共催企業として初参加しました。

2017年7月よりベトナム現地のベトコム銀行にトレーニーも派遣しており、近年日系企業の進出が増加しているベトナムにおいても、お取引先のビジネスマッチング等の支援を行っております。



出展社……138社  
来場者……3,029名  
商談件数……3,899件  
(当行お取引先は3社出展)

北陸銀行 「ビジネスコンテスト」の開催

創業140周年プロジェクトの一環としてビジネスコンテスト「ミライイノベーション北陸 -New Design & Technology-」を開催しました。

北陸の主要産業や地域社会の課題等をテーマに、革新的・実用的なテクノロジーやデザインを活用した新ビジネス、ソリューションなどのアイデアを募集し、合計94件の応募をいただきました。書類選考・面接選考を経て、12月の最終選考会では、選ばれたアイデア10点についてプレゼンテーションが実施され最優秀賞、優秀賞、特別賞を選定しました。

今後、アイデアの実用化・事業化に向けたサポートや、協業を検討する企業や投資家とのマッチング等により、地域経済の活性化に貢献してまいります。



北陸銀行 北陸地区初の日本政策投資銀行とのほくほく応援ファンドを組成

1月、地域創生に資する企業を対象に事業の成長や財務基盤強化など多様なニーズに応えるため、共同運営ファンド「ほくほく応援ファンド投資事業有限責任組合」の運用を開始しました。

優先株や劣後ローンなど中長期の資本性資金を提供することで、地域経済の活性化に取り組んでまいります。



北海道銀行 創業者向け協調支援ユニット『Do スタートアップ』の創設



3月、日本政策金融公庫との連携事業として創業者向け協調支援ユニット『Do スタートアップ』(行動(Co-Do)する人を応援します)を創設し、取り扱いを開始しました。

日本政策金融公庫とともに創業を志す(行動する)皆さまの「夢」の実現を全力で応援してまいります。

北海道銀行 「X-Tech Innovation2017」の開催

11月から1月にかけて、ICT(情報通信技術)を活用した独自性・新規性を有する様々なサービスが続々と誕生していることに着目し、新しいサービス、ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテストを開催しました。

本コンテストは昨年度、ふくおかフィナンシャルグループと共同開催し、今年度は、沖縄銀行を加えた3行共同開催となりました。

今後も、大手企業とスタートアップ企業とのマッチング機会を提供することでビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや既存ビジネスへの活用の可能性を模索し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

北海道地区応募… 31件  
最終選考登壇…… 10先  
参加者…………… 約170名



北海道銀行 お取引先に対する「働き方改革」のサポート開始

12月、お取引先の「働き方改革」をサポートするサービスを開始しました。

本取り組みにより地域の人々の暮らしの向上および企業の環境対応や成長に貢献し、さらに、お客さまの幅広いニーズにお応えするため、更なるサービスの向上に努めてまいります。

【サービス内容】

- ① 労務診断サービス
- ② 階層別・テーマ別研修
- ③ 人事制度(評価、賃金等)の見直し、構築
- ④ 福利厚生制度の充実化
- ⑤ 現場カイゼン(生産性向上)
- ⑥ 営業力強化・営業プロセス見直し
- ⑦ 人材紹介に関するビジネスマッチング
- ⑧ その他各種コンサルティング、ビジネスマッチング



## 地域への取り組み

北海道銀行

### 各自治体との 「地方創生に関する包括連携協定」の締結

地域経済の発展に向けた相互の連携強化を目的として地方自治体との「地方創生に関する包括連携協定」を締結しています。

1月に伊達市、3月に占冠村と協定を締結しました。

今後も各自治体が策定した「地方版総合戦略」の推進に向けて、積極的な連携を図ってまいります。



北海道銀行

### 北海道開発局との 「地域活性化に資する連携協力協定」の締結

3月、北海道開発局との間で連携・協力を進めることにより、地域の活性化を目指すため、「地域活性化に資する連携協力協定」を締結しました。

今回の協定の締結により、北海道開発局が推進する食と観光を担う「生産空間」を支える取り組みと北海道銀行の進める地方創生への取り組みの推進に向け、連携・協力を図ってまいります。



## 従業員への取り組み

北陸銀行  
北海道銀行

### 健康経営優良法人認定（ホワイト500）の取得

2月、北陸銀行・北海道銀行は共に「健康経営優良法人認定（ホワイト500）」を取得しました。

今後も職員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮できる職場環境を整備し、組織全体の更なる活性化の実現を目指してまいります。





## 社会貢献への取り組み

### 北陸銀行 富山マラソン・金沢マラソン開催に協力

10月、地元の自然や名所、街並みをめぐる「富山マラソン2017」と「金沢マラソン2017」が開催されました。

ボランティアとして運営に協力するとともに、ランナーとしても参加し、大会を盛り上げました。



### 北海道銀行 エスポラダ北海道マッチデー

12月、「北海道銀行MATCH DAY」と題してフットサルの試合を開催し、北海道銀行がオフィシャルスポンサーになっている「エスポラダ北海道」と「バスカドーラ町田」が対戦しました。

4,134名の観客を動員し、会場は熱く盛り上がりました。



### 北陸銀行 ギャラリー・ミレーでクリスマスイベント開催

北陸銀行所蔵の絵画を展示する美術館「ギャラリー・ミレー」では、12月にクリスマスコンサートとクリスマスをテーマにした絵本の朗読会を開催しました。

多くの方に美術館を訪れていただき、ミレーやパルビゾン派等の展示絵画を愉しんでいただきました。

来場者数…… 9,818名



### 北海道銀行 台湾訪日旅行者をターゲットとしたメディア招聘事業の実施

10月、台湾のメディア関係者に取材してもらい、台湾本土向けに北海道等の観光情報として発信されることでインバウンド観光客の誘客を目指した招聘事業を実施しました。

台湾では珍しいフェリーと新幹線を組み合わせた新たな北海道、東北周遊ルートを企画したほか、昨年度実施した本取り組みにより、新たに台湾の高校生が修学旅行で訪れるなど成果も現れております。



## 金融教育への取り組み

### 北陸銀行 北海道銀行 エコノミクス甲子園

高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけとしてもらうことを目的に、毎年エコノミクス甲子園を開催しています。

北陸銀行では、富山大会、福井大会の運営を、北海道銀行では、地元の金融機関とともに北海道地区予選大会および北海道大会の運営を行いました。



## Governance (ガバナンス) への取り組み



### ほくほくFG 北陸銀行 北海道銀行 業務のBPR (ビジネスプロセス・リエンジニアリング) 推進

ほくほくフィナンシャルグループおよび北陸銀行、北海道銀行では、グループ内のイントラシステムを刷新し、電子会議、電子稟議、スケジュール共有、メッセージ送受信などの各種機能を整備するとともに、全部店にタブレット端末を配備しました。

これにより業務の効率性・生産性・連携力が向上し、グループ全体、あるいは各銀行における、より迅速な意思決定が可能となりました。

### ほくほくFG ディスクロージャー・ポリシーの制定

3月、株主・投資家、お客さま、地域社会、従業員等あらゆるステークホルダーとの信頼関係を維持・発展させ、公正で透明性の高い情報開示を行うため「ディスクロージャー・ポリシー」を制定しました。



決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="http://www.hokuhoku-fg.co.jp/">http://www.hokuhoku-fg.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ  
フリーダイヤル **0120-288-324**  
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

## ■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

### ① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> <li>証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社</li> <li>特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店</li> </ul>
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

### ② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

## ■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位：円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (予定)
<b>42.5</b>	<b>42.5</b>	<b>44.0</b>	<b>44.0</b>	<b>44.0</b>

普通株式配当につきましては、前期比同額の、期末一括配当1株当たり44円とさせていただきます。

※2016年10月1日を効力発生日として、「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施いたしました。左記の過去配当実績は比較のため「併合後の1株当たり配当金額」となっております。

## 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

### 地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

### 公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

### 進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。



## 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.

### 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

### 株式会社 北陸銀行

#### 総合企画部広報CSR室

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

### 株式会社 北海道銀行

#### 経営企画部広報CSR室

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。  
ベジタブルインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。